

再認定ガイド

International Board Certified Lactation Consultant®の再認定申請者向け

Recertification Guide (Japanese)

国際的組織である IBLCE®は出版物にイギリス英語を使用しています

目次

I.	IBLCE および IBCLC コミッショントとは？	4
A.	連絡先	4
B.	IBCLC コミッション	4
C.	重要な日程	4
II.	再認定の目的および方法	4
A.	IBCLC 試験不合格ポリシー	7
III.	重要な出版物	8
IV.	試験による再認定の申請	8
A.	オンラインにて申請を完了する	8
B.	受験料と支払い	9
C.	IBCLC 試験概要	9
D.	試験場所	10
E.	試験の機密性保護およびインシデント評価に関する規則	11
F.	個人的配慮が必要な方へ	11
G.	妊娠中の志願者へ	11
H.	試験中の授乳時間	12
I.	母国語でない言語	12
J.	受験資格についての通知	12
K.	受験取り下げ/キャンセル	12
L.	受験再予約ポリシー	13
M.	受験会場への入場の手順および志願者の行動規範	13
N.	試験結果の通知	16
O.	手作業による採点の要求に関するポリシー	16
P.	試験結果の抗議ポリシー	16
Q.	再受験ポリシー	17
V.	継続教育自己評価（CE-自己評価）および CERP による再認定申請	18
A.	CE 自己評価を完了する	18
B.	オンライン申請を完了する	19
C.	CERP ポリシーによる再認定のための CERP 受講日	19
D.	CERP のカテゴリーおよび必須単位数	19
E.	CERP 個人ガイド	22

F. CERP の書類	23
G. 再認定延長の要求ポリシー	23
VI. 機密保持ポリシー	23
A. 機密保持の遵守	23
B. 試験結果	24
C. 申請状況	24
D. 資格証明	24
E. 非同定データ	24
F. 志願者	24
G. 職業倫理規範に関する苦情申し立ての懲戒プロセス	24
VII. 初回受験者および再認定監査ポリシー	25
VIII. 受験資格および再認定決定抗議ポリシー	25
IX. 反差別方針	26
X. IBCLC 商標の使用方針	26
XI. IBCLC 登録簿	26
XII. 非アクティブステータス	27
XIII. 引退ステータス	27
XIV. 2026 年認定受験料一覧表	28
XV. IBCLC 詳細内容概要	29

I. IBLCE および IBCLC コミッショントとは？

IBLCE®、またはラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®は、独立した国際的な資格認定機関であり、資格認定を通じて授乳相談およびサポートにおける専門的実践力を向上させることで世界中の公衆衛生に貢献することを使命としています。

A. 連絡先

IBCLC Commission

International Board of Lactation Consultant Examiners (IBLCE)

Phone: +1 703-560-7330

www.iblce.org

IBLCE のカスタマーサービスは世界数カ所にあります。志願者は、IBLCE ウェブサイトの連絡先情報を使用して居住国を管轄する地域事務所を探せます。

IBCLC コミッションは IBCLC 認定および試験への出願について、[ウェブサイト](http://www.iblce.org)にて追加のリソースを提供しています。このウェブサイトを定期的に確認して、適格者として申請するか IBCLC 試験を受験するかのいずれかの準備を行ってください。

B. IBCLC コミッション

[IBCLC コミッション](http://www.iblce.org)は、国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) の認定プログラムを管理する管理団体で、認定および再認定の要件を含む、すべての必須認定プログラム活動に対する権限と責任を有します。

C. 重要な日程

[IBCLC コミッションウェブサイト](http://www.iblce.org)にて、申請締め切り日やその他の重要な日程についてご確認ください。

II. 再認定の目的および方法

目的：IBCLC 再認定プログラムの目的は、ラクテーション・コンサルティングの分野における認定者の継続的な能力を専門的能力の開発および生涯学習を通じて促進することです。初回認定前に習得したスキルや知識は、最新の知見や事例を取り入れるために定期的に更新しなかった場合、数年後に臨床現場で必要な知識と関連性がなくなる場合があることを認識しています。

IBCLC は自己評価および継続教育単位（CERP）による再認定か、5 年ごとの再受験により再認定を受けることができます。自己評価の目的は、認定者の学習の優先順位をつけることです。認定者は *IBCLC 詳細内容概要* の知識分野の中で、自己評価で苦手分野と特定された分野の CERP を選択する必要があります。試験の目的は、継続的な能力の向上だけでなく、定期的に更新される、最新の [*IBCLC Detailed Content Outline \(IBCLC 詳細内容概要\)*](#) に一致させることです。

いずれかの方法により、再認定を受けることが可能です。IBCLC プログラムの性質上、これらの方法で再認定を受けることは重要です。

期間および根拠：初回認定を受けると、一般的に IBCLC は 5 年間資格を保有します。

5 年の間で、利用可能な情報や管理オプションに大きな変化があった場合や、更なる教育の機会が提供されない場合、認定者の知識ベースは最新のものではないとみなされます。そのため、コミッションはすべての認定者に 5 年ごとの再認定を必須としています。

再認定のための 5 年間という間隔は、現場における変化を考慮して決定されました。

方法：5 年ごとの再認定時期に、認定資格者は試験または継続教育自己評価と集中的な継続教育の完了および CERP による再認定を選ぶことができます。5 年間隔で CERP による再認定を選択する場合、75 単位（CERP）の取得が必要であり、そのうち最低 5 単位は職業倫理に関連していなければならない、さらに最低 50 単位はヒトの授乳および母乳育児、母乳育児を行う家族の支援に関する規定に特化していなければならない。残りの 20 単位（CERP）は、*IBCLC Detailed Content Outline* の規定の一部は授乳および倫理に特化したものではないため、ラクテーション・コンサルティングに関連した内容となることが想定されます。継続教育自己評価および CERP による再認定に関する詳細については、本ガイドのセクション V「[継続教育自己評価および CERP による再認定申請](#)」を参照してください。

5 年間の再認定の方法に関わらず、認定者は、基本的な生命維持教育（BLS）および WHO コードに関する訓練を完了すること、250 時間のラクテーション・コンサルティング実習を完

了すること、[Code of Professional Conduct for International Board Certified Lactation Consultants](#)（国際認定ラクテーション・コンサルタントの職業倫理規範）の遵守を再確認すること、専門的な認定/登録、および/または専門懲戒処分を報告することが義務付けられています。コミッションは、この再確認を行うことが重要であり、認定者に倫理的義務を喚起すると考えています。

認定を維持するためには、受験をしない IBCLC は、継続教育（CERP）または同等の CERP で継続教育を受ける必要があります。

CERP のための教育は、セミナー、会議、ワークショップ、独立した学習モジュール、遠隔教育、または他の教育手段を通して、個人または組織によって提供されます。

CERP として認められる教育は、[IBCLC Detailed Content Outline](#)に記載されている科目を扱っている必要があります。

1 CERP は割り当てられた、IBCLC の専門教育ニーズを満たすための 60 分間の教育継続教育単位です。CERP の認定は、3 種類の継続教育に付与されます。

- L-CERP：特にヒトの授乳と母乳保育、そして母乳育児をする家族への支援に関する学習（L=Lactation/授乳）
- E-CERP：保健医療従事者の職業倫理、行動規範に関する学習（E=Ethics/倫理）
- R-CERP：IBCLC の業務に関係するが、授乳や倫理に関するものではない学習（R=Related/関連した）

試験または継続教育自己評価および CERP で再認定された IBCLC は、IBLCE により 5 年ごとの再認定サイクルで以下が必要となります。

- 教育、管理、研究、臨床実践、またはアドボカシーの分野での授乳コンサルティングの 250 時間の実習（フルタイムまたはパートタイム）。この時間は、ボランティアまたは有給での時間、あるいはその両方として獲得できます。IBLCE 遠隔医療に関する助言的意見（[IBLCE Advisory Opinion on Telehealth](#)）に従い、これらの実践時間数をリモートで完了することができます。臨床スキルは *IBCLC 詳細内容概要* の重要な領域であり、これらのスキルは積極的な実践を通じて維持するのが最適です。[ラクテーション特化臨床実習計算機](#)でこれらの時間の計算ができ、監査の際に提出することができます。
- 基本的な生命維持教育。これを満たす教育の例は、心肺蘇生法（CPR）および新生児蘇生プログラム（NRP）です。対面ケアを行う医療従事者として、クライア

ントと患者の安全のために基本的な生命維持教育を維持することが重要です。監査に選ばれた資格者は、基本的な生命維持教育の証明としてカードまたは証明書を提出するよう求められます。再認定に求められる基本的な生命維持教育は 5 年ごとの再認定サイクル内の任意の時点で受けることができ、再認定の時点でその資格が有効である必要はありません。講義によるコースの受講で要件は十分に満たされます。ただし、CERP での再認定の場合は、これらの教育時間は必須の合計 75 時間に加算されます。

- 2 時間の WHO コードトレーニング。2025 年に再認定を受ける予定の IBCLC を皮切りに、再認定を受けるすべての IBCLC は、WHO コードに焦点を当てた 2 時間の教育を修了しなければなりません。注記：CERP によって再認定を受ける場合、この 2 時間は必要な 5 つの E-CERP の一部として換算されます。

IBCLC の認定プログラムは自主的な資格を提供し、その認定は必ずしも認定者がラクテーション・コンサルタントとして業務を行う権利または特権を与えるものではありません。IBCLC 資格を持つ者は、活動しているまたは活動を希望する管轄内の法的権限を厳守しなければなりません。

IBCLC は、試験に合格すると、1 年早く再認定を受けることができます。再認定を 1 年早く受ける場合、有効期限は試験に合格してから 5 年間となります（例：志願者は 2026 年までの再認定期限で、2025 年に試験に合格した場合、有効期限は 2031 年ではなく 2030 年になります）。認定者が試験に合格しなかった場合は、資格を喪失することになります。CERP による再認定は有効期限の 1 年前に行うことはできません。

IBLCE ブリーフィングで以前にお知らせした通り、IBLCE は母乳代用品のマーケティングに関する国際規準（WHO コード）の目的およびその後の世界保健総会での決議に対するコミットメントを強化するために、ポリシーおよび手続きを継続的に更新していく予定です。

IBLCE は IBLCE 役員およびスタッフ対象の必須の WHO コードトレーニングのポリシー、ならびに初回認定および IBCLC 再認定の教育要件を制定しました。詳細については、今後発行される IBLCE ブリーフィングや本ガイドの更新をご確認ください。

A. IBCLC 試験不合格ポリシー

IBCLC 試験は 1 年に 2 回実施されます。IBCLC 認定者が試験に合格しなかった場合は、結果が伝達された時点で認定は取り消されます。志願者は、IBCLC 試験再受験ポリシーに従

い、2 度目の試験を受験することができます。試験に合格した場合は認定を取り戻すことができますが、試験に不合格となつてから認定を取り戻すまでの期間は認定資格はありません。3/4 月の試験に合格しなかった場合は、IBCLC 認定はその年の 6 月 30 日に失効します。9 月の試験に合格しなかった場合は、IBCLC 認定はその年の 12 月 31 日に失効します。

再認定試験に合格しなかった場合は、非アクティブステータスとして認定されません。

III. 重要な出版物

IBLCE 試験の再認定志願者は、以下の出版物を熟知しているべきです。これらの出版物は、全て IBCLC コミッションウェブサイトにてご確認ください。

- [IBCLC 詳細内容概要](#)
- [IBCLC の臨床能力](#)
- [IBCLC の業務範囲](#)
- [懲戒手続き](#)
- [抗議ポリシー](#)（受験者情報ガイドおよび再認定ガイド内）および各申請書
- [Code of Professional Conduct for International Board Certified Lactation Consultants](#)
（国際認定ラクテーション・コンサルタントの職業倫理規範）

IV. 試験による再認定の申請

A. オンラインにて申請を完了する

オンラインでの出願は、試験が提供されている言語と同じ言語のみ利用可能です。ウェブサイトにて以下の IBCLC 試験概要セクションに記載されている言語を探してください。

IBLCE は米国の法人組織であるため、IBCLC 認定プログラムには米国財務省外国資産管理局 (OFAC) の規制およびガイダンスが適用されます。個人の国籍、居住地、または住所がこれらの米国規制の対象となる地域にあることを当該個人が提示した場合、オンライン資格管理システムは、担当職員が特定の情報を確認するまで、アカウントへのアクセスを保留します。この措置は、対象となる国または地域に関する OFAC からの通達内容によって異なる場合があります。

OFAC 規制は非常に流動的であるため、変更される可能性があることにご注意ください。

これは、CE 自己評価、デジタル証明書、または支払いを伴わないその他のオンラインシステムへのアクセスには影響しません。

B. 受験料と支払い

受験料や支払方法に関する詳細は、[IBCLC 認定受験料ガイド](#)に記載されています。

C. IBCLC 試験概要

試験は、175 問の設問があります。各設問の正解は 1 つで、誤答に対するペナルティはありません。全問回答すれば有利となります。試験は 2 つのパートに分かれており、パート 2 では写真を見て答える問題がほとんどです。標準的な IBCLC 試験の試験時間は 4 時間です。これにはパート 1 とパート 2 の間の 5 分間の休憩が含まれます。試験のパート 1 が終了し、予定されている休憩時間が開始されたら、パート 1 の質問に戻ることはできません。試験の言語が母国語でない受験者には、30 分の延長時間が付与されます。IBCLC 試験は、[IBCLC 詳細内容概要](#)に記載されている知識分野に関連する内容で構成されています。

4 月の IBCLC 試験は英語のみで実施され、9 月の IBCLC 試験は試験実施回数の多い以下の 10 の言語で実施します。

- 中国語（繁体字）
- デンマーク語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポルトガル語
- スペイン語

その他の試験言語に関する詳細情報については、[IBCLC 試験の言語翻訳に関する方針](#)および

び [IBCLC コミッションウェブサイト](#) の関連するよくある質問をご確認ください。

上記のポリシーに基づき、IBCLC コミッションは、アラビア語を話す専門家によるラクテーション・コンサルティングの専門的実践の促進を目的として、**アラビア語**での IBCLC 試験の導入を計画しています。アラビア語は世界中で 4 億人以上が話しており、世界保健機関（WHO）の公用語の一つでもあります。

この追加言語による試験の実施は、**2027 年後半**を予定しています。詳細については、IBCLC コミッションのウェブサイトをご覧ください。

IBCLC 試験へのスケールドスコア方式の導入

2026 年 4 月実施の IBCLC 試験より、IBCLC コミッションはスケールドスコアで IBCLC 志願者の試験結果をお知らせしています。スケールドスコア方式は認定試験で採用されているスコア方式で、試験間でスコアを経時的に比較しやすくなります。詳細については、IBCLC コミッションウェブサイトの「[よくある質問](#)」をご確認ください。

D. 試験場所

IBLCE は、世界中でコンピュータ・ベース・テスト（CBT）を実施しています。ライブ遠隔試験監督（LRP）の利用が、今後の IBCLC 試験において承認されました。現在、LRP は英語、フランス語、スペイン語でのみ提供されています（3 月/4 月の試験は英語のみ）。現時点での試験形式に関する情報や更新は [IBCLC コミッションウェブサイト](#) を参照してください。地理的に CBT が利用できない国では、臨時 CBT 会場が開設される場合があります。

試験会場がない地域において、IBCLC 試験の実施に必要な最小人数以上の志願者がいずれかの実施期間中に受験することを希望している場合にのみ、臨時会場の開設を要望することが可能です。

臨時会場の開設に必要な人数の志願者がお住まいの地域にいると思われる場合は、[お住まいの地域](#)を管轄する事務所までご連絡ください。該当する地域の志願者と調整を行い、試験プロバイダーが設定する臨時会場の開設に必要な最小人数を満たしているかどうかを判断します。

試験会場は、出願前に確認することができますが、IBLCE のテスト会場リストは定期的に変更がありますのでご注意ください。試験会場の利用可否は、出願および試験の予約を取る時

点が最も正確です。予約が可能な際は、試験承認メールが届きます。この通知を受け取ったら、すぐに予約の調整を行うことで、選択できる試験会場を増やすことができます。

E. 試験の機密性保護およびインシデント評価に関する規則

IBCLC 試験は、試験および IBCLC 認定プログラムの一貫性を保つために、保護された環境で実施されます。IBLCE の試験管理は、安全性および機密保護に関する規則を遵守して行います。

試験実施中および試験後にインシデントは評価され、必要に応じてフォローアップを行い、インシデントの性質を判断し、適切な解決策を検討します。

F. 個人的配慮が必要な方へ

IBCLC プログラムは、健康上の問題や障害のある志願者に対し、志願者と連携して試験中に正当な便宜を図ります。IBCLC の試験願書には試験中に個人的配慮を要求する理由、試験中に個人的な医療品が必要となるか否かを記入する箇所があります。IBCLC プログラムスタッフは、適用法に従い、健康上の問題や障害のある志願者に対し、志願者と連携して正当な便宜を図ります。

正当な便宜を図るために十分な時間を確保するため、志願者は、試験申請時に要望内容を IBCLC プログラムに伝える必要があります。試験の申請後に配慮が必要になった場合、志願者はできる限り早急に配慮が必要な旨を報告する必要があります。IBCLC プログラムスタッフは志願者に連絡を取り、必要な書類の提出をお願いすることになります。**志願者はこれらの書類を 10 営業日以内に送る必要があります。**承認された場合、書類を迅速にお送りいただくことで、第三者試験プロバイダーはご希望に対応する十分な時間を確保することができるため、予約の際に柔軟に対応することが可能になります。志願者が第三者試験プロバイダーに提出する書類は、健康上の理由により正当な便宜が必要なことを証明できる、直接関連性のあるものでなければなりません。

G. 妊娠中の志願者へ

受験に影響を与える可能性がある健康上の問題のある志願者は、IBCLC プログラムスタッフにできるだけ早く連絡しなくてはなりません。

H. 試験中の授乳時間

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会（IBLCE）および IBCLC コミッションは、授乳育児の支援への貢献を目指す団体です。そのため、試験のセキュリティを維持した上で、母乳育児中の志願者に対し授乳・搾乳またはミルクを与えることを許可するのは妥当なことです。こうした許可は IBLCE 試験のセキュリティ条件に合致すると同時に受験者が受験時間中に授乳できる合理的な解決策を見出す必要があります。そのため、授乳・搾乳休憩を試験の第一部終了後にとることを許可していますが、試験時間の延長は認められません。

更に、授乳・搾乳をする者を含め、試験の第一部が終了し退室した受験者は、試験に戻ることは認められません。

試験中の授乳休憩を希望する志願者は、詳細について「[*Procedure for Breast/Chestfeeding During Examination Administration*](#)」をお読みください。本手順書は、ウェブサイトにてご確認ください。

I. 母国語でない言語

IBCLC 試験は複数の言語に翻訳されています（[9](#) ページを参照）。IBCLC 申請書に記載されているように、試験が母国語に翻訳されていない言語である志願者および認定者には試験時間を 30 分延長します（パート 1 で 15 分、パート 2 で 15 分）。

J. 受験資格についての通知

すべての要件を満たした受験志願者には、電子メールにて受験資格があることが通知されます。この試験承認メールには、試験会場と試験当日の手続きに関する情報が含まれています。受験資格の要件を満たしていない受験志願者には、その旨電子メールで通知され、支払われた受験料の一部が払い戻しの対象となります。

K. 受験取り下げ/キャンセル

IBCLC®試験の受験取り下げや、IBCLC 資格試験の予約をキャンセルする場合は、一部の払い戻しが可能な規定の締め切りまでに、文書にて IBCLC プログラムスタッフに知らせる必要があります。試験取り下げやキャンセルに関する書面による通知は郵送、電子メール、Fax で送る必要があります。志願者が支払った受験料の一部払い戻しを受けるためには、これらの締め切り日までに IBCLC プログラムスタッフが通知を受け取らなければなりません。

規定の締め切り日を過ぎて IBLCE の受験の取り下げやキャンセルを行なう場合は、受験料の一部払い戻しはできません。現在 IBCLC である者は、試験予約の取り下げ・キャンセルによる影響を慎重に考慮する必要があります。再認定にいたらなかった場合や、特別な状況により繰り越し申請が受理されなかった場合、12 月 31 日をもって認定が失効することになります。

その特別な事情を文書にて提出している場合に限り、受験料の繰り越しが考慮されます。受験料の繰り越し、および認定申請時期の延長が認められた場合、IBCLC は翌年内に IBCLC の試験に合格して認定を維持するか、または自己評価と集中的な継続教育の完了および CERP により再認定を受ける必要があります。繰り越しおよび延長の申請の一環として CERP を取得した場合は、延長する年の正規の再認定に必要な CERP 75 時間に加算することができます。認定された場合でも、この延長により、次の 5 年ごとの再認定サイクルは延長されないため、現在の再認定の要件を満たして、元の 5 年ごとの再認定サイクルに再認定を受ける必要があります。詳細は、ウェブサイトに掲載されている、[IBCLC Examination Withdrawal/Cancellation Policy](#) (IBCLC 資格試験受験取り下げ/キャンセル時のポリシー) をご確認ください。

L. 受験再予約ポリシー

試験の予約を再調整しなければならない志願者は、IBCLC コミッションウェブサイトに記載されている締め切り日までに行うことが推奨されます。これらの日程を過ぎると、予約の再調整ができなくなる場合があります。特別な状況に限り、再調整が認められます。これらの日程を過ぎた後に予約を再調整する必要がある場合は、IBCLC プログラムに報告しなければなりません。予約に関する決定は、IBCLC コミッションが独自で行います。

再予約が完了した場合は、その旨 E メールにてご連絡いたします。テスト会場に会場しなかった場合は、受験料の返金はありません。再予約が可能な試験は、すでに受理されている試験のみです。

M. 受験会場への入場の手順および志願者の行動規範

試験会場に入場するために、志願者は 2 種類の身分証明書が必要です。第一は有効かつ期限が切れていない政府発行の身分証明書で、**志願者の名前、現在の写真とサイン***があるもの、第二の身分証明書には志願者の名前とサイン、もしくは志願者の名前と現在の写真がなくともなりません。

第一の身分証明書は、政府によって発行された次のいずれかでなければなりません。

- 運転免許証
- 海外/国内/自治体などで発行された身分証明書
- パスポート
- 軍事身分証明書（ライブ遠隔試験監督を利用する場合は認められません**）
- グリーンカード（永住権証明書）もしくはビザ

第二の身分証明書には、志願者の名前とサイン、もしくは名前と現在の写真がなくてはなりません。第二の身分証明書として認められるものは以下の通りですが、これらに限定されません。

- クレジットカード（ライブ遠隔試験監督を利用する場合は、認められません**）
- 社会保障カード（ライブ遠隔試験監督を利用する場合は、認められません**）
- 社員証/学生証
- 専門資格の認定証
- 健康保険証

*政府によって発行された写真付きの第一の身分証明書にサインがない場合、第二の身分証明書（社員証やクレジットカード）は、政府発行の写真付きの身分証明書の補足書類としてサインがあるものでなければなりません。

**現時点では、LRP は英語、フランス語、スペイン語でのみ提供されています。英語での LRP 試験では、英語の ID のみが受け入れられます。他の言語による LRP 試験の場合は、英語またはその言語の ID が受け入れられます。デジタル ID は認められません。

注意事項：これら二種類の身分証明書を持っていない志願者の場合は、試験日より前に IBCLC プログラムスタッフに連絡し、どんな選択をするか相談しなくてはなりません。

身分証明書に記載されている名前は、IBLCE 資格管理システムのファイルに記載されているものと一致しなければなりません。名前を更新または変更する必要がある受験者は、これらの変更について IBCLC プログラムスタッフに連絡する必要があります。試験予約日前の期日までは、更新/変更を行うことが可能ですが、試験会場に入場する時点で一致している必要があります。名前が一致しない場合は、試験センターから IBCLC プログラムに報告されます。

受験者は、十分な時間の余裕をもって試験会場に到着しなくてはなりません。必要な受付手順を済ませるのに適当な時間を確保するために、試験会場には試験開始の 30 分前には到着していることが望ましいです。

試験開始後 30 分以降に到着した志願者は入場を拒否され、試験料は返金されません。同様に、試験当日の受付登録ができなかった受験者も受験料の払い戻しに対するすべての権利を失います。期日までに予約を取らなかった場合、受験料の払い戻しはされません。

各試験会場は、1 人または複数の試験管理者/試験監督官によって監督、監視されます。受験者は、試験管理者/試験監督官がアナウンスする規則に従ってください。この規則は、可能な限り気を散らさないよう試験が実施され、すべての受験者が公平に扱われることを保証するためのものです。試験中、試験管理者試験監督官は安全に試験を実施するために試験会場内を監視します。

受験者は、試験中および休憩中に試験会場を離れることはできません。試験会場を離れた場合、即刻試験からの退場を命じられます。

志願者は、身の回りのものを試験管理者/試験監督官が指定した場所に置く必要があります。試験会場に身の回りのものを持って入ることは認められません。試験中および休憩中に、携帯電話などの電子機器の使用は許可されません。試験中や休憩時間中にこのような機器を所持かつ/または使用を発見された受験者は、退出を命じられ試験は採点されません。携帯電話やその他電子機器を試験会場に持参している受験者は、それらの電源を切らなくてはなりません（サイレント/消音モードに設定するだけでは不十分です）。また携帯電話は、試験管理者試験監督官が指定した場所に置いてください。[注意：試験管理者/試験監督官と IBLCE はどちらも志願者個人の荷物に責任は持ちません。]

試験中に他の受験者と話すことは許されていません。試験の実施に関する質問は、オリエンテーション中に試験管理者/試験監督官が返答します。試験内容に関する質問は許可されません。試験管理者/試験監督官は、試験問題の解釈や説明を提供することは許可されていません。不正行為は容認されません。不正行為が発見された場合、方針および手続、もしくは刑事訴追を含む法的措置に従って、志願者のスコアが取り消されるか、または認定が取り消されます。

さらに、このガイドの *Confidentiality Policy*（機密保持ポリシー）に記載されている通り、試験終了後にいかなる試験問題に関して誰とも話し合ってはなりません。たとえ同じく受験した人とも話し合ってはなりません。

注意：受験者は、試験会場到着時に、試験会場の規則に同意するよう求められます。受験者がこれらの規則を遵守しない場合、受験者は、試験結果の無効化および/または民事または刑事訴訟の遂行の無効化のうえ、支払い済みの試験料の返金なしに試験会場から退場と

なる場合があります。

試験会場に来なかった場合、受験料は返金されません。指定された期限までに予約を行わなかった場合、受験料は没収されます。

N. 試験結果の通知

公式な試験結果とスコアレポートは試験後約 3 か月で、受験者にオンラインで提供されます。試験に合格した受験者には、スコアがオンラインで閲覧可能になった後、IBCLC の認定書もお送りします。試験の機密保持の理由から、IBLCE は試験に関する質問は受け付けていません。

O. 手作業による採点の要求に関するポリシー

IBCLC の筆記試験を受けた場合、採点は解答用紙の光学スキャンで行われます。コンピューター試験の場合、志願者の試験は電子的に提供された正答キーで自動採点されます。試験が正しく採点されていないと思う受験者は、手作業によるスコアの確認、あるいはコンピューター試験結果の再採点を要求することができます。

全ての手作業による採点の要求は、試験結果の公表から 30 日以内に提出されなければなりません。手作業による採点の要求申請書は、IBLCE のウェブサイトのコンタクトページからアクセスすることができます。手作業による採点要求には、費用がかかります。この費用は、受験者の採点結果に誤りがあったと認定された場合、返金されます。

P. 試験結果の抗議ポリシー

試験志願者から申し出があれば、認定についての不利な決定について調査が行われます。認定に関する不利な決定は、次のようなものが想定されます。(1) 試験運営にふさわしくないことがあったという主張、または (2) 試験を受けるにあたり大きな妨げとなるような試験環境等の異常事態。次にあげるような理由の抗議は受け付けません。(1) 合格点の決定、(2) 試験もしくは他の判断基準もしくは個々の設問についての問題、もしくは (3) 試験内容の有効性試験結果に関する抗議については、できるだけ具体的に抗議の根拠を説明してください。

申請を開始するためには、[試験結果抗議申請書](#)を提出する必要があります。全ての試験結果抗議申請書は、試験結果が伝達された日より 30 日以内に提出されなければなりません。

抗議の審査に当たっては、抗議申請書とともに提出された書類および関連する追加情報を合わせて精査します。**抗議申請書に署名することで、IBCLC 抗議委員会の判断が最終決定事項であることを承諾することになります。**

抗議が受け入れられた際に受けられる措置は、適切な通知をもって行われる将来的な試験への受験料の繰り越しのみです。

Q. 再受験ポリシー

IBCLC 試験に合格できるよう支援する取り組みとして、また、IBCLC と関係者からのフィードバックを慎重に検討した後に、IBCLC コミッションは IBCLC 試験を受験する志願者の再受験ポリシーの改訂を行いました。**2026 年 4 月に実施される試験の申請より、IBCLC 試験に合格しなかった志願者に対する再受験ポリシーは以下の通りとなります。**

不合格者は最大 3 回まで再試験を受けることができます。

4 回目の受験に失敗した場合、志願者は再度試験を受ける前に追加で 35 時間の授乳教育を受け、その教育を受けた証明書を提示する必要があります。

5 回目の不合格後、志願者は再度試験を受けるまで最低 2 年間、待機しなければなりません。志願者は初回受験者として再度申請することが可能ですが、その場合は申請時点でのすべての要件を満たしている必要があります。

試験に合格し、IBCLC 資格を取得すると、以前の不合格は考慮されなくなります。

再受験を検討している志願者は、スコアレポートを注意深く見直し、得点が低かった分野の学習を完了させるべきです。再び試験を受ける資格を得るためには、志願者は、最新の受験資格要件を満たしていなければならず、受験する年度の願書を提出し、関連する受験料を支払わなければなりません。再受験ポリシーの意図は、志願者が再受験の前に苦手な分野を克服するきっかけとなることです。

このポリシーが施行される時点において、試験を以前に受けたことがある場合は、このポリシーに基づき許可される合計回数にその受験が含まれることになります。

もし IBCLC 試験に合格しなかった場合、次の試験において、または合格しなかった後の 2

年までの試験において、50%の受験料割引を受け取る資格があります。初回受験者および再認定試験受験者のどちらも割引対象となります。

V. 継続教育自己評価（CE-自己評価）および CERP による再認定申請

費用および締め切りについての詳細は、ウェブサイトにてご確認ください。再認定の要件は、再認定申請時にすべて満たしている必要がありますのでご注意ください。

A. CE 自己評価を完了する

CE 自己評価は、CERP による再認定が提供されている 17 すべての言語で利用可能です。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ● 中国語繁体字 | ● ギリシャ語 | ● ポルトガル語 |
| ● クロアチア語 | ● ハンガリー語 | ● スロベニア語 |
| ● デンマーク語 | ● インドネシア語 | ● 英語 |
| ● オランダ語 | ● 日本語 | ● イタリア語 |
| ● フランス語 | ● 韓国語 | ● スペイン |
| ● ドイツ語 | ● ポーランド語 | |

CE 自己評価によって指導された継続教育は、IBCLC として実務を行うために必要な包括的な知識とスキルを実証するのに役立ちます。IBCLC は、現在の [IBCLC 詳細内容概要](#)に基づいてその能力を測定するために、CE 自己評価を受ける必要があります。CE 自己評価によって作成されたパーソナライズされた専門能力開発計画を使用して、IBCLC は 75 単位の CERP を完了する必要があります。

CE 自己評価は、継続教育への「融合的アプローチ」を使用して内省を促すことを目的としています。これにより、能力を維持し、[IBCLC 詳細内容概要](#)に記載されているトピックの専門的な基準に合わせて継続的に進化するというコミットメントのバランスが保たれます。また、IBCLC は、キャリアパス、実務環境、関心分野に固有の継続教育を柔軟に選択することができます。

CE 自己評価は、パーソナライズされた専門能力開発計画を作成するために採用された 72 の複数選択の質問からなる、無料でリモートで実施されるコンピュータ・ベースの評価です。**120 分（2 時間）の時間内で行う必要があります。**開始すると、途中で保存して後で再開することはできません。CE 自己評価は、5 年間の再認定サイクル中に 1 回のみ行うことができます。

す。

CE 自己評価が完了すると、パーソナライズされた専門能力開発計画の形式ですぐにフィードバックが提供されます。この計画では、継続教育を重視する必要がある *IBCLC 詳細内容概要* のトピック分野が示されます。

再認定時期を迎える IBCLC は、パーソナライズされた専門能力開発計画（PPDP）の結果に応じて CERP の最低単位数を取得することが求められます。

- PPDP で 1 つまたは複数の必須トピック分野が特定された場合、そのトピック分野ごとに CERP を 5 単位取得する必要があります*。または、
- PPDP で必須トピック分野が特定されなかった場合、自分のキャリアパス、実務環境、関心のある分野に基づいて、詳細内容概要（DCO）に沿って CERP を取得することができます。

*PPDP の結果に基づいて必要となる CERP は、再認定に必要な 75 CERP に算入されます。

B. オンライン申請を完了する

オンラインでの出願は、CERP による再認定が提供されている 17 すべての言語で利用可能です。ウェブサイトにてご自身の言語を探してください。

C. CERP ポリシーによる再認定のための CERP 受講日

CERP による再認定のための学習は、IBCLC として初回認定を受けた後に行われなければなりません。IBCLC 初回認定を受けたあとに実施された学習のみ、CERP による再認定の単位として認められます。

D. CERP のカテゴリーおよび必須単位数

CERP に認定される学習は、[IBCLC 詳細内容概要](#)に記載されている科目を扱っていなければなりません。CERP は、学習内容によって 3 つのカテゴリーに分類されます。

- L-CERP：特にヒトの授乳と母乳保育、そして母乳育児をする家族への支援に関する学習
- E-CERP：保健医療従事者の職業倫理、行動規範に関する学習

- R-CERP：ラクテーション・コンサルタントの業務に何らかの関係のある学習（オプションカテゴリー）

CERP を使って再認定をするためには、IBCLC 認定者は最後の試験に合格してから、または CERP で最後に更新してから、5 年ごとに少なくとも 75 単位（CERP）を取得しなければなりません。これらの 75 単位（CERP）は、必ず以下の最低必須条件を満たさなければなりません。

- 最低 50L-CERP および
- 最低 5E-CERP および
- 最低 2 時間の WHO コード教育（合計 5 時間の E-CERP に含まれる）
- 基本的な生命維持教育（3R-CERP として認められる）、および
- L-CERP および/または E-CERP、R-CERP から最低 17 単位

さらに、再認定時期を迎える IBCLC は、パーソナライズされた専門能力開発計画（PPDP）の結果に応じて CERP の最低単位数を取得することが求められます。

- PPDP で 1 つまたは複数の必須トピック分野が特定された場合、そのトピック分野ごとに CERP を 5 単位取得する必要があります。または、
- PPDP で必須トピック分野が特定されなかった場合、自分のキャリアパス、実務環境、関心のある分野に基づいて、詳細内容概要（DCO）に沿って CERP を取得することができます。

CERP は、CERP プロバイダー・プログラム（CERP Provider Programme）または非 CERP プロバイダー・プログラム（non-CERP Provider Programme）が認定した教育活動を通して認定されます。CERP がすでにその教育と認められている場合、修了証には CERP 登録番号、CERP のカテゴリーと与えられる CERP の数が示されています。

以下は、CERP の各カテゴリー例です。また、CERP として認められない教育の種類についても記載されています。

L-CERP 分野として適切な例：

- 授乳に関連した乳房の解剖学
- IBCLCs のための臨床技能
- IBCLCs のための臨床記録
- 母乳育児に対する文化の影響
- 母乳育児成功のための 10 ステップ

- 母乳育児マネジメント
- 母乳育児研究
- 授乳中の栄養

E-CERP 分野として適切な例：

- ラクテーション・コンサルタントの実践倫理
- インフォームド・コンセント
- 医療従事者および母乳代用品のマーケティングに関する国際規準（WHO コード）
- 利益相反
- 自分の限界を知る；必要な情報を参照すべき時
- 人権および乳児期の授乳法の選択
- 行動が科学的原則や最新の情報に基づいていない同僚との接し方
- 著作権および知的財産

R-CERP 分野として適切な例：

- 一般的な解剖学
- 乳児の成長、発達
- 研究方法、統計
- 健康習慣の文化による違い
- 心肺蘇生法（CPR）
- 産後うつ
- カウンセリング、コミュニケーションスキル
- 成人教育の指針
- 家族療法
- 乳児マッサージ実践
- 栄養（授乳に特化していない場合）
- 補完療法（概論のみ）

IBCLC Detailed Content Outline に記載されていない内容の教育プログラムは、CERP として認められません。CERP として認められない内容の例：

- コンピュータスキル
- ビジネス・マネジメント
- ブラ・フィッティング（授乳に関連したもの以外）
- モチベーション・セッション
- 補完療法に関する教育プログラム
- 専門的なヘルスケアスキル（例：胎児モニタリング）

更に、下記のような教育の種類は CERP として認められません。

- ラクテーション・コンサルタントとしての臨床業務
- 出産前後の母親クラス
- 学術誌の閲読やビデオの視聴などの個人的な学習
- International Code of Marketing of Breast-milk Substitutes（母乳代替品のマーケティングに関する国際規準）の範囲内にある製品（例：乳児用粉ミルク、哺乳瓶、乳首）を製造・販売する会社から支援を受けている

E. CERP 個人ガイド

[CERP 個人ガイド](#)にて、下記の活動のための L-・E-・R-CEPRs の取得の仕方が記載されています。本ガイドはウェブサイトにてご確認ください。

- 著者もしくは共著者として学術誌や編集本に掲載された記事・要約文・章
- 修士論文や博士論文
- ポスターによるプレゼンテーション
- 医療従事者のためのビデオ開発
- 独自に制定した院内の議定書や方針の主策定者もしくは共同策定者
- 臨床観察
- ヒトの授乳や母乳育児に関する講座への出席
- 講座の発表
- ボランティア活動
- 志願条件 3 メンターシップ
- 志願条件 2 臨床指導官時間

内容が IBCLC の実践に関連したものであれば、教育活動は科目に応じて、L-・E-・R-CEPRs として認定されます。

IBCLC は 5 年間に渡り、以下の生命維持コースのうち 1 つ以上を修了するために合計 6 つの R-CERP を取得することができます。

- CRPU（心肺蘇生法）
- NRP（新生児蘇生）
- PALS（小児の二次救命処置）
- ACLS（二次救命処置）
- S.T.A.B.L.E [Sugar & Safe Care（血糖）、Temperature（体温）、Airway（気

道)、Blood pressure (血圧)、Lab work (検査)、Emotional support (精神的支援)]

- NLS [Newborn Life Support (新生児生活サポート)]
- EPALS [European Paediatric Advanced Life Support (欧州小児高度生活サポート)]

IBCLC は、前述のコースごとに 3 つの R-CERP を取得し、最大 6 つの R-CERP まで取得します。いずれかのコースの指導者であった IBCLCs は、当該コースの指導に対して 6R-CERP を取得できます。

F. CERP の書類

再認定の手続き中に監査対象となった場合、CE 自己評価の結果のコピーおよびすべての CERP の認定証のコピーを監査の通知を受け取ってから 10 営業日以内に提出する必要があります。再認証プロセスの目的上、CERP Provider Programme を通じて CERP を授与された教育プログラムの参加者の記録は保管されていません。修了証を紛失した場合や、手違いがあった場合は、教育機関に連絡する必要があります。

G. 再認定延長の要求ポリシー

再認定を検討している IBCLC は、再認定の必要条件を満たさなかった場合の影響を十分に考慮する必要があります。再認定に至らなかった場合、認定資格が失効することになります。文書により提出された特別な状況に限り、認定時期を翌年へ延長することが検討されます。詳しくは、ウェブサイトにて、[Recertification Extension Request Policy](#) (再認定延長要求ポリシー) をご確認ください。

VI. 機密保持ポリシー

A. 機密保持の遵守

IBCLC コミッションは、IBLCE のポリシーに沿って、申請者、志願者、認定者、そして試験作成の経過および試験内容に関する、機密情報や所有権情報の保護を徹底しています。申請者や認定者の機密情報をその個人からの書面での許可を受けた場合、または、法律により必要とされない限り、IBLCE および IBCLC コミッションは申請者、志願者、認定者の機密情報を開示することはありません。

B. 試験結果

個々の試験結果は、機密情報とみなされます。前もって、同意文書が提示されない限り、試験の得点は個々の受験者のみに通知されます。結果は電話やファックスでは通知されません。認定試験や再認定試験の申請書、志願者、認定者に提供された個人情報は、機密情報とみなされます。

C. 申請状況

個々の申請状況は、機密情報とみなされます。IBCLC プログラムは、個人が認定試験に申請したか、試験を受けたか等に関する情報は一切開示しません。このポリシーの資格証明のセクションに述べられているように、現在の認定状況は、公開され、証明されています。

D. 資格証明

認定者の名前は、機密情報とはみなされておらず、公開されることもあります。公開情報には、名前、市町村、都道府県、国、認定地位が含まれる場合があります。[オンラインの認定者の登録簿](#)は、一般に公開されます。IBCLC プログラムは事前に同意文書を認定者から受け取っていることを条件として、雇用者は証明書を受けることもあります。

E. 非同定データ

IBCLC プログラムは IBLCE 研究委員会の承認を得て、集計および非同定データを提供します。IBLCE は非同定データを利用する権利を有します。IBCLC プログラムは、承認済みのアンケートや質問形式の調査書を団体の所属メンバーに配布し、任意で回答をお願いすることがあります。

F. 志願者

試験の志願者は、試験の実施前、実施中および実施後に関わらずいかなる時であっても、IBCLC 試験の設問または内容に関する情報をいかなる人や団体にも伝えることを禁じられています。この禁止事項を遵守できない場合、遵守していないことが疑われる情報が報告された場合、もしくは本人もしくは他者による試験に関する疑わしい行為が発覚した場合は、IBCLC プログラムのポリシーおよび手順、もしくは刑事訴追を含む法的措置に従って、志願者のスコアが取り消されるか、認定が取り消されます。

G. 職業倫理規範に関する苦情申し立ての懲戒プロセス

職業倫理規範に関する苦情申し立ての懲戒プロセスは機密情報とみなされます。懲戒事項の調査や決定および倫理規範に関する苦情申し立ての内容は、法律によって義務付けられている場合、または懲戒プロセスの実施に必要となった場合を除き、懲戒プロセスの関係者以外に公開されることはありません。

VII. 初回受験者および再認定監査ポリシー

初回、再認定、復帰受験者の中から監査対象が選択されます。この監査は、標準化され、無作為抽出された上で行われます。監査に選ばれた場合、受験志願者もしくは認定者は迅速に要求された全ての情報を提出しなければなりません。これができなければ、[Code of Professional Conduct for International Board Certified Lactation Consultants](#)（国際認定ラクテーション・コンサルタントの職業倫理規範）に基づき、IBCLC 試験受験の延期または却下、および/または懲戒処分の開始、および/または認定再申請の機会の停止または取り消しの措置が取られる可能性があります。

上記に挙げられた無作為抽出され標準化された監査に加え、IBCLC コミッションは、いかなる受験志願者もしくは再認定者に対して教育、雇用、コース学習の証明、もしくはいかなる初回受験資格もしくは再認定必要条件の証拠を適時に提出すること、かつそれらの証拠は完全で正確であるよう要求する権利については特に、明確に保持しています。これができない場合もまた、[Code of Professional Conduct for International Board Certified Lactation Consultants](#)（国際認定ラクテーション・コンサルタントの職業倫理規範）に基づき IBCLC 試験受験の延期または却下、および/または懲戒処分の開始、および/または証明書の再申請の機会の停止または取り消しの措置が取られる可能性があります。

VIII. 受験資格および再認定決定抗議ポリシー

IBCLC 認定資格者および申請者からの、認定適格性または再認定決定に対する不利な申し立ては審査されます。認定に関する不利な決定には、次のようなものが想定されます。

1.) 認定もしくは再認定基準が正しく適用されなかった、もしくは 2.) 結果に影響する事実上の誤りがあった。締め切り日を過ぎた場合の抗議は、実証された特別な状況の場合に限ります。抗議を希望する認定者・申請者は、[抗議申請書](#)（Appeals Form）を提出しなければなりません。手続きに関する必要条件是、下記のとおりです。

特別な状況とは、候補者/認定者または近親者の重病または重傷、近親者の死亡、不可避な自然災害による被災、または現役軍務に関連する変更のみです。

試験の受験資格を満たさない申請者、CERP による再認定資格を満たさない認定者には、通知します。**抗議申請書は、不適格の通知より 30 日以内に提出しなければなりません。**

抗議内容は、抗議申請書と共に提出された情報をもとに抗議委員会により評価されます。**資格認定者および申請者は、抗議文書に署名することで、IBCLC 抗議委員会の判断が最終決定事項であることを承諾することになります。**

IX. 反差別方針

IBLCEは、その行動や活動において、人種、肌の色、宗教、宗派、性別、性同一性、性的指向、性、民族性、年齢、出身国、祖先、政治的志向、障害の有無、結婚の状況、地理的な場所、社会経済的状态での差別、およびアメリカ合衆国もしくはバージニア州コモンウェルスの法律で禁じられている基準に基づいて差別を行うことはありません。IBLCEは、IBLCEコミュニティのすべてのメンバーだけでなく、IBLCEコミュニティへのアクセスを求めるすべての人にとって、包括的で歓迎的な環境を提供することに努めています。

X. IBCLC 商標の使用方針

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) は特定の名称、トレードマーク、およびIBLCEと国際認定ラクテーション・コンサルタント®、IBCLC®、IBCLCの認定ロゴ（以下「マーク」とする）を含むロゴを所有しています。IBCLC 志願要件を満たし、IBCLCの試験に合格し、またIBLCE認定を維持している者だけが、IBCLC認定マークを使用することができます。マークの使用は、[IBCLC Trademark Use Policy](#) (IBCLCトレードマーク使用ポリシー) およびその条件条項に従った場合に限りです。条件条項はウェブサイトを確認できます。

XI. IBCLC 登録簿

IBLCEは、最新のIBCLCの名前を公表する権利を有します。登記は[IBCLC コミッショウェブサイト](#)にてご覧いただけます。

XII. 非アクティブステータス

資格が失効する年に再認定を受けない IBCLC は、翌年の 1 月 1 日に自動的に Inactive Status（非アクティブステータス）に移行します。Inactive Status（非アクティブステータス）の間、該当する個人は IBCLC として認定されず、名前の後に IBCLC という呼称を使用したり、IBCLC として活動したりすることは許されません。

試験または CERP により、Inactive Status（非アクティブステータス）から復帰することができます。

CE 自己評価および CERP によって復帰する非アクティブステータスの志願者は、最後の再認定日または初回の認定書が発行された日付以降に取得した CERP を使用することができます。

Inactive Status（非アクティブステータス）から Active Status（アクティブステータス）に戻るには、受験者は以下を行わなければなりません。

- Inactive Status（非アクティブステータス）を保持している年に、IBCLC 試験、または CE 自己評価および CERP によって、現在の再認定要件をすべて満たして再認定を受ける。
 - 受験者は、IBCLC コミッションウェブサイトに掲載されている通常の申請受付期間中に申請する必要があります。
- 追加で 15CERP を取得する。
- 申請料金を支払う

試験に合格していない IBCLC は、Inactive Status（非アクティブステータス）とは認定されません。

詳細については、[IBCLC コミッションウェブサイト](https://www.ibclce.org)をご確認ください。

XIII. 引退ステータス

引退する目的で IBCLC としての活動を中止する予定の現在有効な IBCLC に引退ステータスを導入しました。限られた期間、過去に認定資格を保持していた人はこのステータスを申請できます。この申請期間は[ウェブサイト](https://www.ibclce.org)でご確認いただけます。

このステータスを獲得した人は、履歴書や名刺の名前の下に「IBCLC Retired（IBCLC 引

退)」と記載することができます。ただし、名前または署名（例：チャート）の直後に有効な認証情報として記載することはできません。このステータスの意図は承認の1つであり、IBCLCとして活動的に業務をしておらず、業務に戻る意志がない人のためのものです。

XIV. 2026 年認定受験料一覧表

詳細は、[IBCLC 認定受験料ガイド](#)をご覧ください。

XV. IBCLC 詳細内容概要

Effective 2023

 ラクターション・コンサ. ルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) 国際認定ラクターション・コンサルタント® (IBCLC®) 試験詳細内容概要	
I. 成長と栄養	32
A. 乳児	
1. 月齢別哺乳行動 2. 食物不耐性/アレルギー 3. 乳児解剖学と解剖学的問題や口腔学的問題 4. 世界保健機関 (WHO) による補完食の導入のためのガイドライン 5. 低出生体重と超低出生体重 6. 母乳銀行 - 公式と非公式 7. 正常な乳児行動 8. 栄養所要量 - 早産児を含む 9. 早産児の発達、成長と行動 (後期早産児を含む) 10. 肌の色調、筋緊張、反射 11. 正期産児の発達と成長 12. 在胎週数を修正した WHO 成長曲線 13. 排便と排尿	
B. 母体	
1. 乳房の発達と成長 (定型と非定型) 2. 乳房の手術 3. 母乳の成分 4. 母体の解剖学的問題 5. 母体の栄養状態 6. 乳頭の構造とバリエーション 7. 乳頭の修飾 (例: ピアス、タトゥーなど)	
II. 生理学と内分泌学	14
A. 乳汁分泌の生理学	
1. 母乳復帰 2. 不妊の問題 3. 乳汁分泌の誘発 4. 妊娠と母乳育児 - タンデム授乳(兄弟同時授乳) 5. 多胎 (例: 双胎、品胎)	
B. 内分泌学	
1. 乳汁産生におけるホルモンの影響 2. 糖尿病 3. 母体の代謝内分泌疾患(例: 下垂体、甲状腺、多嚢胞性卵巣症候群) 4. 母体の自己免疫疾患 5. 新生児の低血糖	



ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®)

国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®)

試験詳細内容概要

III. 病理学 35
A. 乳児
1. 舌小帯短縮症 2. 口唇口蓋裂 3. 先天性奇形（例：消化管、心臓） 4. 胃食道逆流症(GERD)、逆流 5. 高ビリルビン血症 6. 乳児の神経学的障害 7. 在胎不当過小(SGA)、在胎不当過大(LGA) 8. 乳児急性疾患(感染性、心臓性、代謝性) 9. 垂直感染（例：HIV,B型肝炎） 10. 食道閉鎖 11. 先天性代謝異常 12. 乳児のがん 13. 乳児の消化管奇形
B. 母体
1. 膿瘍 2. 射乳反射の機能障害 3. 母体の急性疾患（例：感染性、心臓性、代謝性） 4. 母体の慢性疾患 5. 母体の障害(身体的、神経学的) 6. 乳腺炎 7. 乳汁産生（不足または過剰） 8. 乳頭と乳房の状態 9. 乳頭痛と乳頭損傷 10. 産後の異常出血 11. 子癇前症／妊娠高血圧症候群 12. 母体のがん



ラクテーション・コンサルタンツ資格試験国際評議会® (IBLCE®)

国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®)

試験詳細内容概要

IV. 薬理学と毒物学	14
A. アルコール B. ニコチンとたばこ C. 大麻 D. 薬物(例：処方薬、市販薬、診断と治療の処置薬、陣痛と出産の促進剤) E. 薬物乱用 F. 避妊法 G. 乳汁分泌促進薬 H. ジェルによる保護 / 乳頭クリーム I. ハーブとサプリメント J. 化学療法/放射線療法/放射性画像検査	
V. 心理学、社会学、人類学	20
A. 親になること B. お産の慣習 C. 乳汁分泌に影響する、摂取すべき/避けるべき食物 D. 仕事 - 職場に復帰する、または就職する E. 家族のライフスタイル F. 支援ネットワークの見つけ方 G. 母親のメンタルヘルス H. 母親の心理的問題 / 認知の問題 I. 母親と赤ちゃんとの関係 J. 安全な睡眠 K. 卒乳 L. 文化的適応力	

	ラクテーション・コンサ. ルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®)	試験詳細内容概要
VI. 技術		25
A. 効果的な乳汁移行(医学的適応のある補足を含む) B. 生後 1 時間 C. 吸着 (吸い付き方) D. 供給量の管理 E. 搾乳 (例：ポンプ、手による搾乳、乳汁の漏れ) F. 授乳時の母子の姿勢 (ハンズ-オフ) G. 哺乳拒否、哺乳びん拒否 H. 肌と肌とのふれあい(カンガルーケア)		
VII. 臨床的技術		35
A. 器具と技術		
1. 授乳用デバイス(例：チューブ、カップ、シリンジ、人工乳首、パラダイ (インドの授乳用カップ)) 2. 搾母乳の保存と取り扱い方 3. 乳頭用デバイス(例：ニップルシールド、乳頭吸引器) 4. おしゃぶり 5. 搾乳器 6. 体重計 (例：正確さ、高精度、操作性) 7. コミュニケーション スキル (例：仮想映像、翻訳、または通訳サービス、ウェブサイト)		
B. 教育とコミュニケーション		
1. 積極的傾聴 2. 予備的ガイダンス 3. ケア計画の作成と共有 4. 母親と家族の教育 5. 専門家、ピアサポーター、学生の教育 6. 精神的サポート 7. エンパワーメント 8. グループサポート		

	ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 試験詳細内容概要
VII. 臨床的技術 (続けた)	
C. 倫理的および法的問題	
1. 公共の場での授乳 2. 臨床能力 3. 職務行動規範 4. 守秘義務の原則 5. WHO コード - 啓発と政策	
D. 研究	
1. 科学的根拠に基づく実践の適用 2. 研究結果の評価と解釈 3. 政策やプロトコルの作成にむけた研究の使用 4. 研究をデザインする (倫理的許可を得ることを含む) 5. 調査とデータ収集に参加する	
E. 公衆衛生と支援運動	
1. 赤ちゃんにやさしい病院運動 (BFHI) の啓発 2. 母乳代用品のマーケティングに関する国際規準(WHO コード)順守の啓発 3. 保健医療制度内におけるお母さんと赤ちゃんのためのアドボカシー 4. 母乳育児に関する政策の作成 5. 政府と保健省庁への啓発 6. 災害時の母乳育児 (例: 自然災害、個人の危機的状況)	
アイテムの合計数	175



ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®)

国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®)

試験詳細内容概要

補助的な分類

試験問題は、実践分析結果のデータをもとに作成され、出題内容はケア計画の作成に関連する以下の内容を含みます

	課題
1	計画立案
2	文書作成
3	評価
4	母親の目標設定を支援
5	問診
6	他の医療機関と提携
7	母乳育児をしている母親の乳頭と乳房の視診
8	哺乳している乳児の姿勢と吸着の視診
9	母乳育児をしている家族との言語を使ったコミュニケーション

一般的な項目を問う問題を除いて試験問題は以下のガイドラインに沿い、期間月齢区分に応じて出題されます

	期間月齢区分
1	出産前(妊娠中)
2	陣痛(妊娠中) / 出産- 周産期
3	早産 (後期早産を含む)
4	生後0 ~ 2 日
5	生後3 ~ 14日
6	生後15 ~ 28日
7	生後 1 ~ 3 か月
8	生後4 ~ 6か月
9	生後7 ~ 12か月
10	生後12か月以上
11	一般項目(妊娠前を含む)

これらの補助的な分類に対して、特別な目標は用意されておらず、全ての期間月齢区分から試験は出題されます。